報徳@なう
発行人：田嶋 享

山北町町役場　食品支援事業を開始

報徳食品支援センターは9カ所の社協や町役場に冷凍庫を設置させていただいていますが、それがきっかけとなって地域の住民へのサービスがさらに充実する事例が出てきました。山北町役場の活動を紹介します。

山北町（湯川裕司町長）は6月議会に補正予算で生活困窮者支援事業30万円を上程し、町議会で6月14日可決され、同日から施行されました。町内の生活困窮者に食品やその他生活必需品を配布する支援事業です。福祉課で受付後、食料は原則その場で渡します。量が多い場合は自宅まで届けます。

冷凍食品は、当センターが役場に貸与した冷凍庫に当センターが補充し、足りない分は町が買い足します。

山北町は、住民への情報提供手段として「あんしんメール」というインターネットの仕組みを持っていますが、今回の決定は「あんしんメール」登録者2374名に一斉に送信されました。

「町では、生活困窮世帯への支援として、食料品や生活必需品の現物支給を行う事業を開始しました。お困りの方は、福祉課までご相談ください。

※利用料はかかりません。

※福祉課でご相談をお受けします（平日8：30～17：15）。困窮に至った過程や抱えている問題等をお聞かせください。今後の継続的な支援を行います。……」

そのほか、町営の保育園、幼稚園、小中学校を通じて父兄にも案内されました。

今年3月に冷凍ストッカーを設置してから、これまでの米や調味料など常温保存できる加工食品の他に、冷凍野菜やハンバーグなどの総菜も渡せるようになりました。それまでも、山北町福祉課は東京のフードバンク「セカンドハーベスト・ジャパン」から会費を払って取り寄せるなど生活困窮者支援に前向きに取り組んでおられました。

コロナ禍の影響は深刻さを増していて、町内の生活保護申請数は19年度7件だったが20年度17件と2倍以上に増えています。町内の5月末現在での生活保護を受けているのは56世帯69人もいられます。食品支援の活動はますます重要になってきます。

報徳食品支援センターは、米、加工食品、冷凍食品などをこれからも提供していきます。

ただし悩みもあります。大半の食品は無償で提供されるものばかりですが、人気のある冷凍食品のお惣菜類（シューマイ、から揚げ、ハンバーグなど）は助成金を使って購入してきました。

今は、予算を使い切って、新たに購入できないのでどうしようかと悩んでいます。冷凍食品等のご提供いただけるところを探しています。

箱根社協「ゴンとお母さんからのおすそわけ」

箱根町社会福祉協議会は、すでに3月から全町民に回覧板などを利用してお米、食品、冷凍食品の配布を案内しています。「ゴンとお母さんからのおすそわけ」というチラシです。

これまで36件の申し出に対応されていて、今も続けています。このようにこれからさらに深刻になっていく生活困窮の問題に前向きに取り組む動きが出て来ています。なお、箱根町社協にも当センターの冷凍庫が設置されています。

コロナ後も元気でいるために

ゴンとお母さんからの

おすそわけ

箱根町社会福祉協議会では、新型コロナウィルス感染拡大の影響などにより、収入が減少した世帯や個人の方々に食料品の支援（おすそわけ）もおこなってまいります。

配付する食品は、フードバンク活動をおこなう「特定非営利活動法人報徳食品支援センター」様からご提供いただいた食料品です。

レトルトカレー・缶詰・カップスープ・パスタ・お米 等の食品を"おすそわけ"することができます（数量、とどけられるかどうかは下記）

「収入が減ったので食費を節約したい」「育ち盛りの子どもに不自由させたくない」「収入が減って食べるものがない」などでお困りのときは、箱根町社会福祉協議会までご連絡ください

（社）箱根町社会福祉協議会
電話：0460-85-9000
担当：田本・伊土

箱根山のゴンとお母さん

こんなご意見をいただいています。

「昨日お米が無くなったので助かります。今日お金がないのに子供にサイダーを買わされてしまいました。いただいた食品の中にサイダーが入っていて嬉しかったです。お醤油もなかったのでありがたいです。冷凍食品も大変有難

いです。アイスも買えないのでうれしいです。」

「先日はたくさんの食品をありがとうございました。

キティちゃんのフライパンやお鍋で毎日お風呂で遊んでいます。

こんなに「がんばれ！」と言ってくださる方が小田原に、世の中にいてくださることが有難いと感じております。」

玉葱、野菜の提供が増えました。

5月に入ってから、タマネギや野菜のご提供が増えています。

下中小学校の生徒さんが作ったタマネギ30kg。

松田町の市村自然塾関東からタマネギや野菜を2回にわたって200kg、

タマネギ農家加藤靖司さんからタマネギ60kg、観音山フルーツガーデン（和歌山県）からタマネギ50kgなどです。

美味しい新タマネギです。改めて感謝申し上げます。

野菜のシーズンといえども、スーパーでの野菜の値段はまだそれほど安くはなりませんから、タマネギのおすそわけをいただいた方たちから大いに感謝されています。次は新ジャガかしら？



下中小学校のタマネギ

ボランテイアさせていただきありがとう

昨年10月カトリック小田原教会のミサに、本岡氏（当センター副理事長）が参加され、フードバンクの話をされました。フードバンク事業の内容の説明と、事業へのボランテイアの協力をお願いしたいというお話でした。

本岡氏の呼びかけに応じ、ボランティア活動に参加して、早いものですでに8か月。当センター広報誌「報徳＠なう」等のニュースレターの発送、いただいた食品の賞味期限ごとの仕分け、配布食品を小分けにするなど今では毎週のように十数人のボランティアとともに交代で関わらせていただいております。

食品廃棄の愚を減らし、今、コロナ禍で生活に苦しむ兄弟たちと分かち合う、現代に非常に有用な活動を力強く進めてくださっているセンターの皆様に敬意を表するとともに、ささやかながらそこに関わらせていただけることを感謝しております。

カトリック小田原教会ボランテイアー同

文　大石恵子

大石様は、南足柄市在住の方で、地元でも社会福祉の活動に公私ともにご尽力されている方です。本岡副理事長の話に感銘を受けて、フードバンク事業に仲間の方々と共にボランティアとして参画し、活動されていられます。

また当センターの賛助会員になっていただいております。当センターとしても大石様始め小田原教会ボランティアの皆様方のご尽力に感謝申し上げる次第です。今回は、大石様にボランティア活動参加の思いを書いていただきました。

本センターはボランティアの皆様の活動で成り立っております。奮ってのご参加をお願い申し上げます。



大石様とお仲間の皆様

ご寄付のお願い

ところで、フードバンクは、無償で食品をいただき、無償で配布しますので、利益はありません。しかし、事務所兼倉庫の費用等はかかります。ということで、フードバンク事業継続の「ご寄付」をお願い申し上げます。

また、会報・ホームページに広告掲載も検討していきたいと思っています。

編集後記

今回から、「報徳＠なう」を2ページにいたしました。素人編集者ですが、食品ご提供者、受益者さらにはボランティアの方々のご意見を広く取り上げていきたいと思っているところです。

また、ホームページも、近々新たに改変して、リアルタイムに各種情報をお届けしてまいります。

報徳食品支援センター　〒250-0212 小田原市西大友136－1　TEL090-3107-6477　houtoku.foodbank@gmail.com